

1. 件名: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの加工の事業に係る廃止措置の進捗状況に係る面談

2. 日時: 令和4年6月10日(金) 10:30~10:50

3. 場所: 原子力規制庁10階南会議室 ※テレビ会議により実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ研究炉等審査部門

志間安全規制管理官、来住管理官補佐、細野企画調査官、本多主任安全審査官、真田安全審査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター 廃止措置・技術開発部長 他13名

5. 要旨

原子力規制庁は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター加工の事業に係る廃止措置計画(令和3年1月20日認可)に基づく、加工施設の廃止措置の進捗状況について、以下のとおり説明を受けた。

○ウラン濃縮原型プラントの設備及び機器の解体は、第1段階で維持管理設備以外の設備の解体、第2段階で維持管理設備の解体を進める。

○現在は、第1段階として DOP-1 高周波電源設備の解体を終了し、DOP-1UF₆ 処理設備の解体を進めているところである。

○六フッ化ウランの譲渡しを行うため、貯蔵用シリンダから輸送容器への詰替設備、詰替後の貯蔵用シリンダを洗浄する洗浄設備を新設する計画である。

○六フッ化ウランの譲渡し先については、調整中である。

6. 資料

・ウラン濃縮原型プラントの加工の事業に係る廃止措置の状況について

以上